

# 平成24年度第1回 習志野市地域公共交通会議

- (1) 会長・副会長の選出**
- (2) 会議の役割**
- (3) これまでの取組みと進め方**
- (4) 地域公共交通の現状と課題地区の整理**
- (5) 新たな地域公共交通の基本的な考え方**
- (6) 各地区における検討方針**

## (2) 会議の役割

### ■会議の役割

習志野市内の交通不便地域等の解消に向けた対策として、地域の特性に適した移動手段の実現及び将来の方向性について定めた習志野市地域公共交通計画（以下「計画」という。）の策定並びに計画の実施及び検討すること

- (1) 計画の策定に関すること
- (2) 計画に基づく実験的な運行に関すること
- (3) 市民アンケートの内容に関すること
- (4) 実験的な運行の検証に関すること
- (5) その他市長が必要と認める事項に関すること

# (3) これまでの取組みと進め方

平成18年度	習志野市コミュニティバス検討委員会の発足
平成19年度	コミュニティバスの実証運行開始 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; background-color: #002060; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px;">京成津田沼駅ルート</div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #002060; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px;">京成大久保駅ルート</div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #002060; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px;">実籾駅ルート</div> </div>
平成20年度	習志野市コミュニティバスについての提言書作成
平成21年度	<div style="border: 1px solid black; background-color: #002060; color: white; padding: 10px; border-radius: 10px; width: fit-content; margin-left: 20px;">京成津田沼ルート 本格運行*</div>
平成22年度	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; background-color: #002060; color: white; padding: 10px; border-radius: 10px; width: 30%;">京成大久保ルート 本格運行*</div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #002060; color: white; padding: 10px; border-radius: 10px; width: 30%;">実籾駅ルート 実証運行の打切り</div> </div>
平成23年度	<div style="border: 1px solid black; background-color: #c0c0ff; padding: 10px; border-radius: 10px; width: fit-content; margin-left: 20px;">東習志野・実籾地域 市民アンケート調査実施</div>

\* ) 運行経費の概ね2分の1以上の運賃収入の確保(運行評価基準の達成)

# コミュニティバスの運行ルート図



**京成津田沼駅内陸ルート**

**実叅駅ルート**  
 平成19年度:実証運行開始  
 平成22年度:実証運行打ち切り  
 ( ..... 打ち切り区間)

**京成大久保駅ルート**

**京成大久保駅ルート**  
 (済生会習志野病院経由)

**京成津田沼駅海浜ルート**

📍 運賃が変わるポイント

※京成大久保駅ルートでは  
 済生会習志野病院を経由するのは、  
 平日のみです。

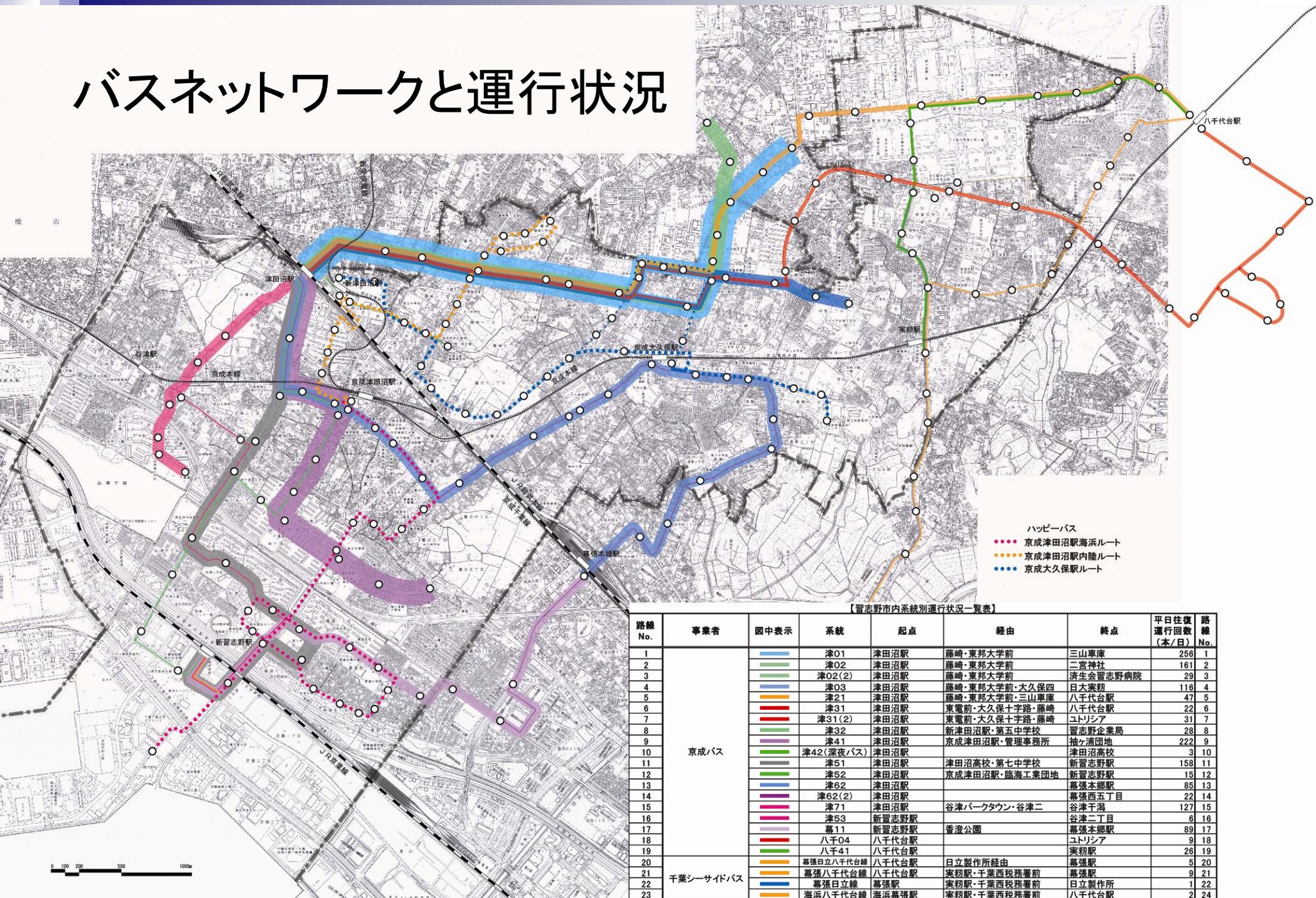
# ■ 計画策定の進め方

年度	計画策定フロー	地域公共交通会議の主な議題
H 24	<p>1. 地域公共交通の現状と課題の整理</p> <p>2. 課題地区に対するアンケート調査の実施</p> <p>3. 新たな地域公共交通の基本方針の策定</p> <p>4. 地域公共交通計画の検討 1) 課題地区の対応方針 2) 実証運行素案</p>	<p>第1回 (H24. 7. 19)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域公共交通の現状と課題地区の整理</li> <li>■ 新たな地域公共交通の基本的な考え方</li> <li>■ 各地区における検討方針</li> </ul> <p>第2回 (H24. 9月下旬予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ アンケート調査の報告</li> <li>■ 新たな地域公共交通の基本方針</li> <li>■ 新たな地域公共交通の運行計画の検討</li> </ul> <p>第3回 (H25. 2月中旬予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域公共交通計画の策定</li> </ul>
H 25 ~	<p>実証運行の開始(予定)</p>	

## (4) 地域公共交通の現状と課題地区の整理

- コミュニティバスの導入後、市民意識調査において、住みづらい理由における『交通の不便さ』、都市整備の施策として特に取り組むべきもの『バス路線の利便性の拡大・充実』がともに、導入前に比べ改善され、コミュニティバスの一定の導入効果が読み取ることができる
- その一方で、依然公共交通空白地区や不便地区などが残ることから、その対応が必要である
  - ①東習志野、実籾地域
  - ②谷津地域（3～6丁目）
  - ③花咲地域（1～2丁目）

# バスネットワークと運行状況

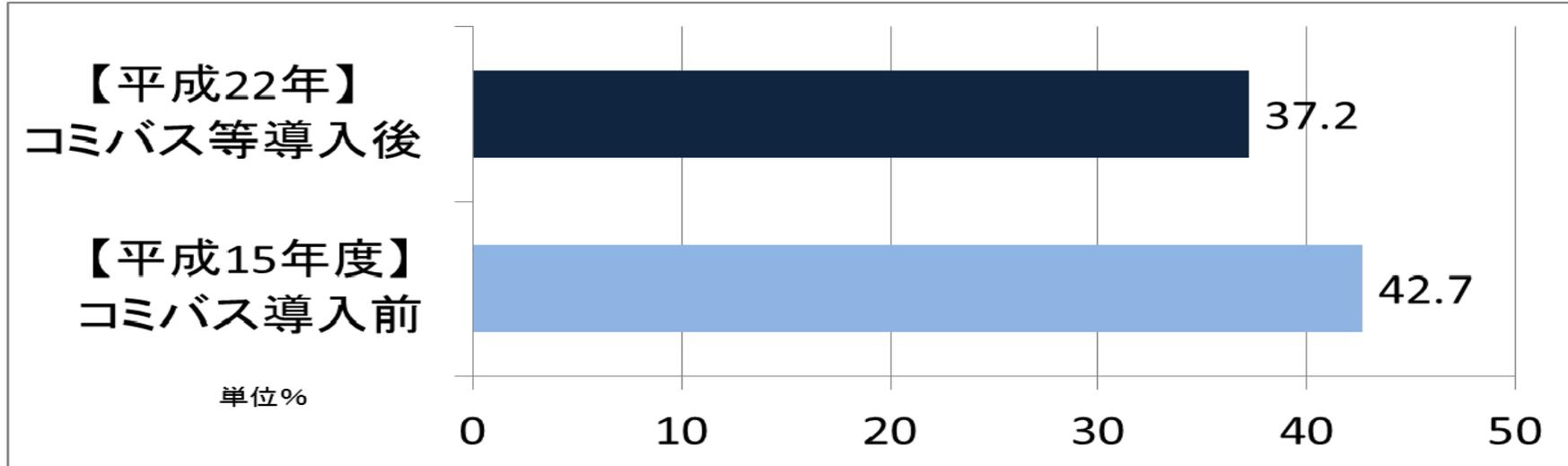


【習志野市内系統別運行状況一覧表】

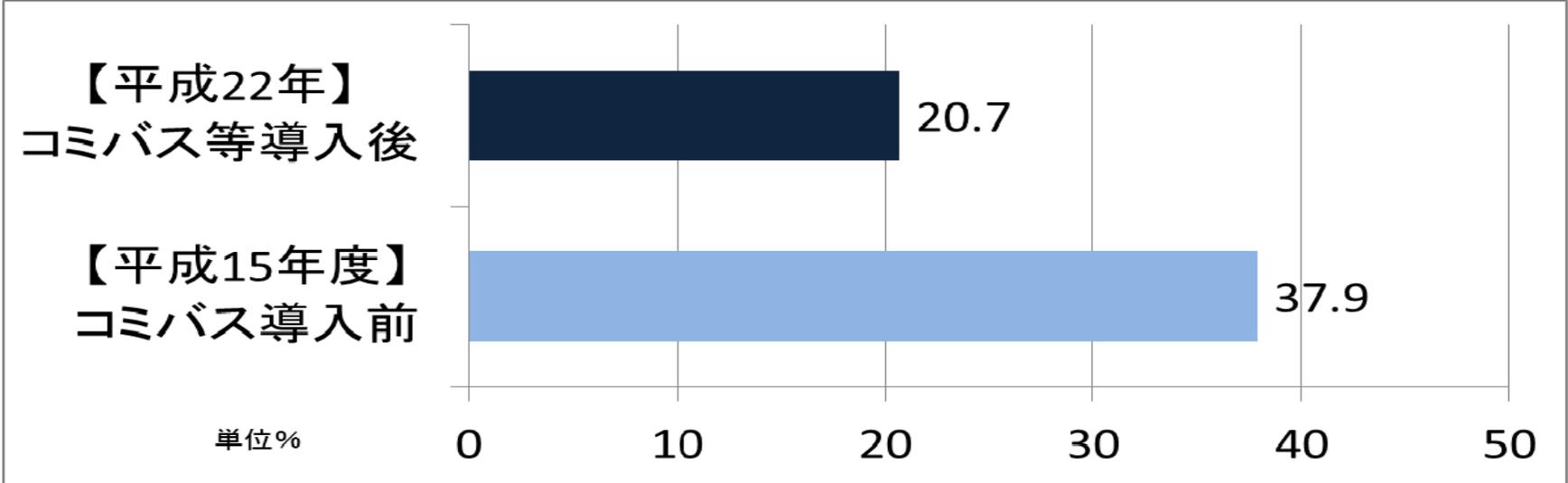
路線 No.	事業者	図中表示	系統	起点	経由	終点	平日往復 運行回数 (本/日)	路線 No.
1	京成バス		津01	津田沼駅	藤崎・東邦大学前	三山車庫	256	1
2			津02	津田沼駅	藤崎・東邦大学前	二宮神社	161	2
3			津02(2)	津田沼駅	藤崎・東邦大学前	済生会習志野病院	29	3
4			津03	津田沼駅	藤崎・東邦大学前・大久保四	日大薬初	116	4
5			津21	津田沼駅	藤崎・東邦大学前・三山車庫	八千代台駅	47	5
6			津31	津田沼駅	東電前・大久保十字路・藤崎	八千代台駅	22	6
7			津31(2)	津田沼駅	東電前・大久保十字路・藤崎	ユトリシア	31	7
8			津32	津田沼駅	新津田沼駅・第五中学校	習志野企業局	28	8
9			津41	津田沼駅	京成津田沼駅・管理事務所	袖ヶ浦団地	222	9
10			津42(深夜バス)	津田沼駅	津田沼高校	津田沼高校	3	10
11			津51	津田沼駅	津田沼高校・第七中学校	新習志野駅	158	11
12			津52	津田沼駅	京成津田沼駅・臨海工業団地	新習志野駅	15	12
13			津62	津田沼駅	幕張本郷駅	幕張本郷駅	85	13
14			津62(2)	津田沼駅	幕張本郷駅	幕張西五丁目	22	14
15			津71	津田沼駅	谷津パークタウン・谷津二	谷津千湯	127	15
16			津53	新習志野駅		谷津二丁目	6	16
17			幕11	新習志野駅	香澄公園	幕張本郷駅	89	17
18			八千04	八千代台駅		ユトリシア	9	18
19			八千41	八千代台駅		実初駅	26	19
20	千葉シーサイドバス		幕張白立八千代台線	八千代台駅	日立製作所経由	幕張駅	5	20
21			幕張八千代台線	八千代台駅	実初駅・千葉西税務署前	幕張駅	9	21
22			幕張日立線	幕張駅	実初駅・千葉西税務署前	日立製作所	1	22
23			海浜八千代台線	海浜幕張駅	実初駅・千葉西税務署前	八千代台駅	2	24
24								

注1)京成バスは、京成バス株式会社の「京成バス 時刻表」(http://www.keiseibus.co.jp/jikoku/)による。(平成24年7月10日調べ)  
 注2)千葉シーサイドバスは、社団法人千葉県バス協会の「千葉県バス総合案内総合WEB」(http://www.chiba-bus-kyokai.or.jp/)による。

# 住みづらい理由「交通が不便」の割合



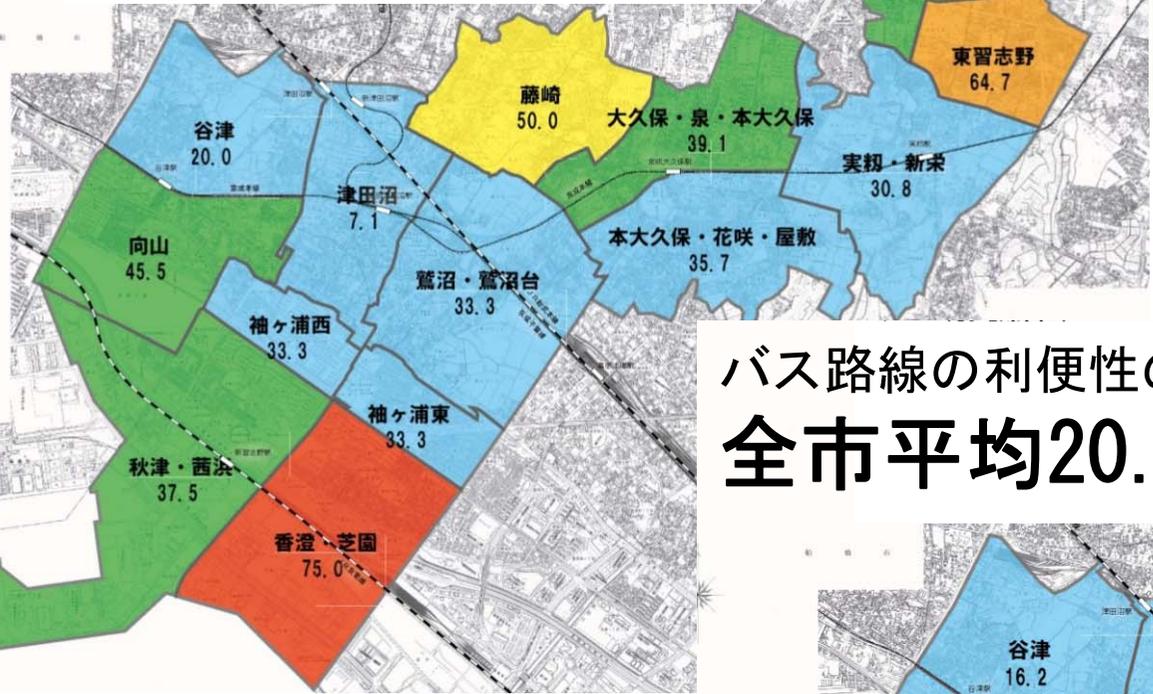
# 都市整備の施策として特に取り組むべきもの「バス路線の利便性の拡大・充実」の割合



# 平成22年度結果

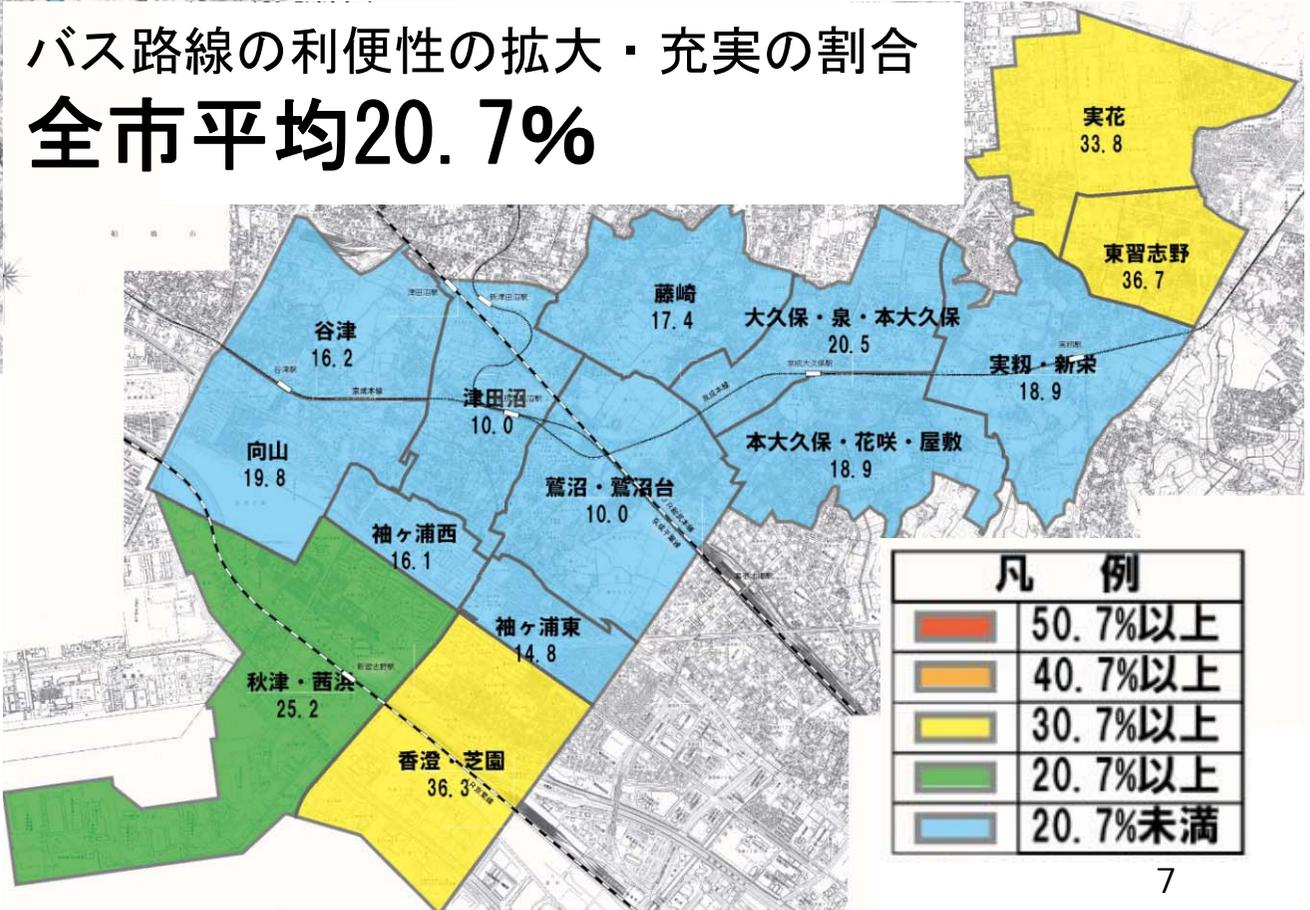
「交通が不便」の割合  
**全市平均37.2%**

凡 例	
	67.2%以上
	57.2%以上
	47.2%以上
	37.2%以上
	37.2%未満



バス路線の利便性の拡大・充実の割合  
**全市平均20.7%**

凡 例	
	50.7%以上
	40.7%以上
	30.7%以上
	20.7%以上
	20.7%未満

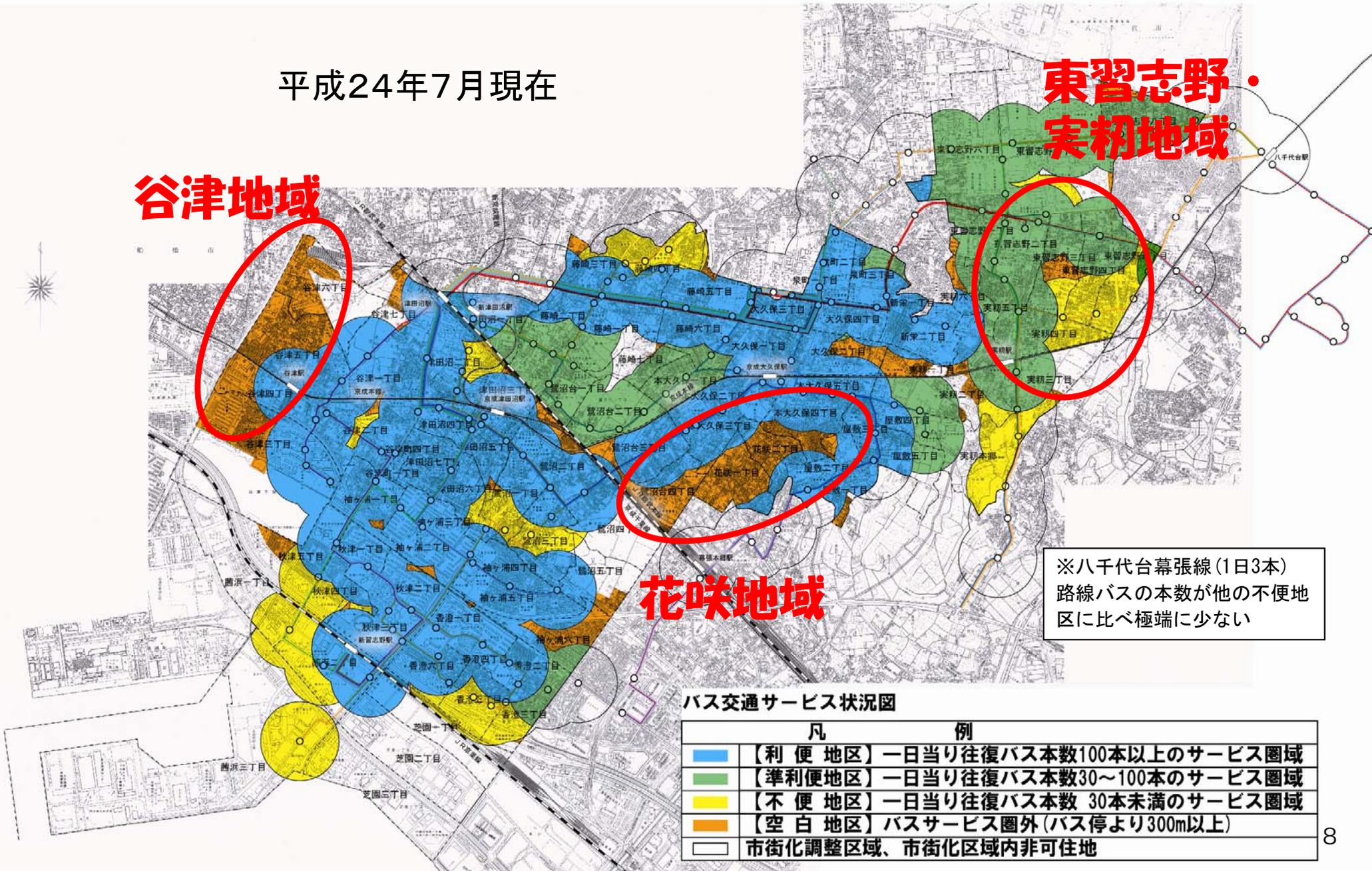


資料：市民意識調査

# 残された公共交通空白・不便地区（課題地区）の設定

路線バス、コミュニティバスの路線網、本数より交通空白、不便地区を設定

平成24年7月現在



**東習志野・実初地域**

**谷津地域**

**花咲地域**

※八千代台幕張線(1日3本)  
路線バスの本数が他の不便地区に比べ極端に少ない

バス交通サービス状況図

凡	例
<span style="color: blue;">■</span>	【利便地区】一日当り往復バス本数100本以上のサービス圏域
<span style="color: green;">■</span>	【準利便地区】一日当り往復バス本数30~100本のサービス圏域
<span style="color: yellow;">■</span>	【不便地区】一日当り往復バス本数 30本未満のサービス圏域
<span style="color: orange;">■</span>	【空白地区】バスサービス圏外(バス停より300m以上)
<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	市街化調整区域、市街化区域内非可住地

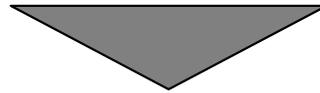
# 残された公共交通空白・不便地区（課題地区）の設定

地域名称	これまでの検討経緯	現在の状況
①東習志野・実籾地域	公共交通空白・不便地区の解消を図るためコミュニティバス実籾駅ルートとして実証運行を行ったが、目標達成には至らず本格運行を見送った地域	不便地区が面的に広がり、市民意識調査の「不便」、「利便性の拡大・充実」の割合が他の地域に比べ高い
②谷津地域 (3～6丁目)	公共交通空白地区があるものの、バス路線の拡大、充実を求める割合が低いことからコミュニティバスによる対応を見送った地域	空白地区が面的に広がり、谷津駅南側の地域では市民意識調査の「不便」の割合が高い
③花咲地域 (1～2丁目)	公共交通空白地区があるものの、道路が狭くコミュニティバスによる対応を見送った地域（都市計画道路の整備に合わせてサービスを充実）	空白地区が面的に広がっているものの、市民意識調査では「不便」、「利便性の拡大・充実」の割合がさほど高くない

# (5) 新たな地域公共交通の基本的な考え方

## ■ 基本目標

残された公共交通空白地区、不便地区の解消を図る



## ■ 目標達成に向けた検討方針

① 新たな地域公共交通の導入を検討

② まちづくりとの整合を図り、路線バス等の再編について、交通事業者と協議を行いつつ、必要に応じ新たな地域公共交通の導入を検討

## ■新たな地域公共交通とは

- 受益者負担基準（達成目標）の達成等からみて、コミュニティバス（小型バス）では、対応できない地域に導入する在来線を補完する乗合型の公共交通
- イメージとしては、小型バスよりも運行経費が安価に抑えられる「ワンボックス車両」を使用した定時定路線型の地域公共交通

### 習志野市地域公共交通体系

#### 市外・市内の連絡

■鉄道（JR線、京成線）

■路線バス（主にJR津田沼駅方面）

#### 市内の連絡（補完・支線機能）

■コミュニティバス

■新たな地域公共交通

## ■新たな地域公共交通の基本的な考え方

●新たな地域公共交通は、「あれば便利」ではなく「無くて困る」地域への導入を目指し、高齢者や障がい者などのいわゆる交通弱者の輸送サービスを主体としつつも、全ての市民を対象に鉄道駅及びその周辺地区や、主要な生活施設などへの利便性の向上を図るものである

●税の全市的な公平性等の観点から、一定の利用者（市民の協力）が必要であるため、コミュニティバスと同様に達成目標を設定する。

（基本的にはコミュニティバスと同様に運行経費の概ね2分の1の運賃収入※が原則）

※「習志野市使用料、手数料等の単価の積算基準」（平成16年1月14日 習志野市行政改革推進本部）により、受益者負担率を定めている

## (6) 各地区における検討方針

地域名称	検討方針
①東習志野・ 実籾地域	フォローアップ調査（市民アンケート）結果を踏まえつつ、実証運行計画を検討し、新たな地域公共交通の導入の可能性を検討する
②谷津地域 （3～6丁目）	市民の移動ニーズをアンケート調査により把握し、まちづくりとの整合を図り、路線バス等の再編について交通事業者と協議を行いつつ、必要に応じ新たな地域公共交通の導入を検討する
③花咲地域 （1～2丁目）	市民の移動ニーズをアンケート調査により把握し、都市計画道路等との整合を図り、路線バス等との再編について交通事業者と協議を行いつつ、必要に応じ新たな地域公共交通の導入を検討する

## ■東習志野・実籾地域の市民意識

コミュニティバス実証運行打ち切り後のフォローアップ調査として、  
市民アンケート調査を実施（平成24年2月）

### 【市民アンケート調査概要】

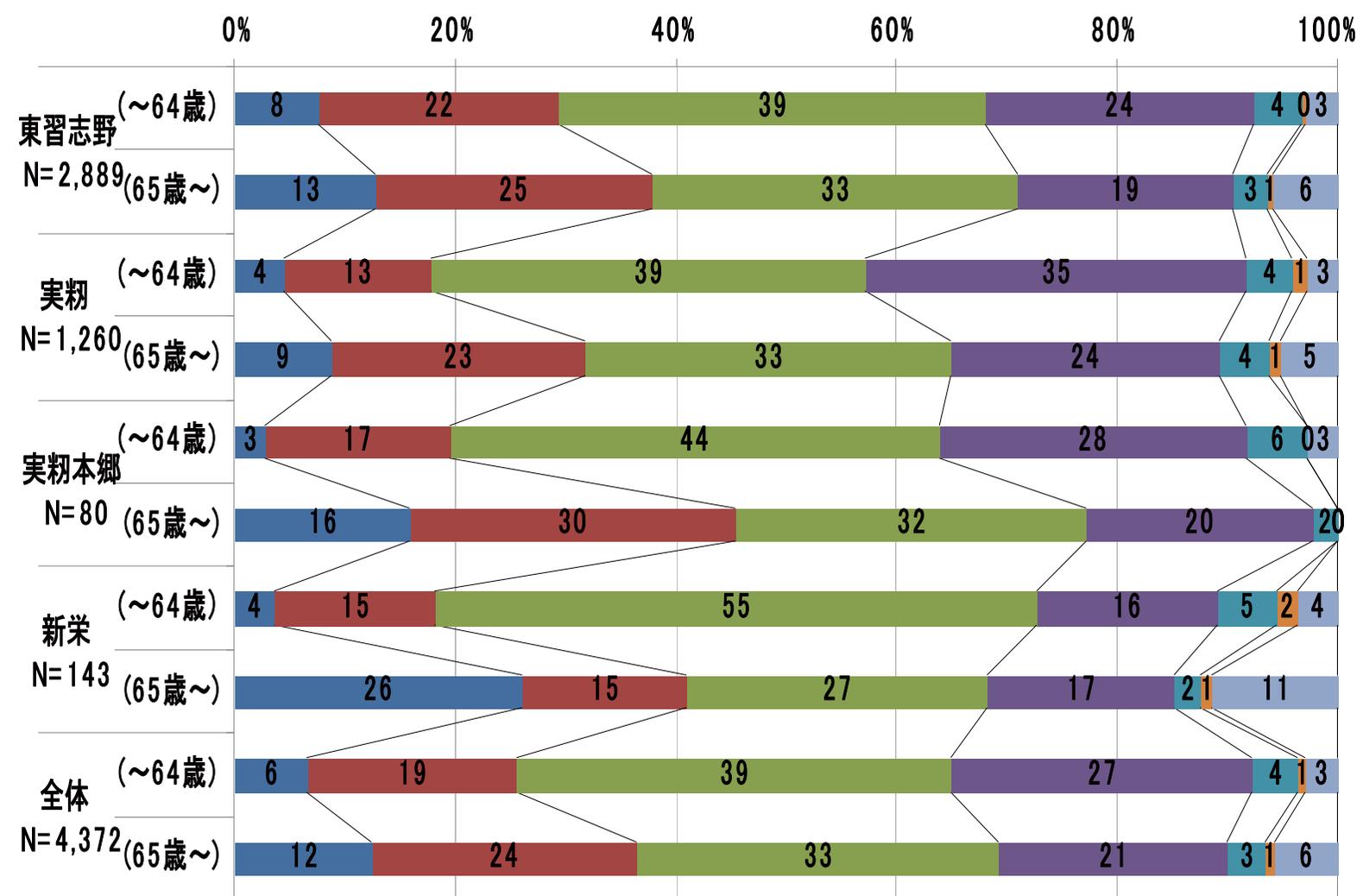
対象	東習志野、実籾、実籾本郷、新栄の居住者 8,559世帯
方法	町会、自治会等の協力による配布回収
アンケート 内容	I. 日常の外出状況 ・ 移動実態 ・ 移動の不便さ II. 今後の地域公共交通のあり方 III. 属性
回収状況	回収数4,878通 回収率57%



# 現在、日常生活で移動に不便を感じるか

65歳以上の高齢者は約4割が移動に不便を感じており、特に実籾本郷ではその割合が高い

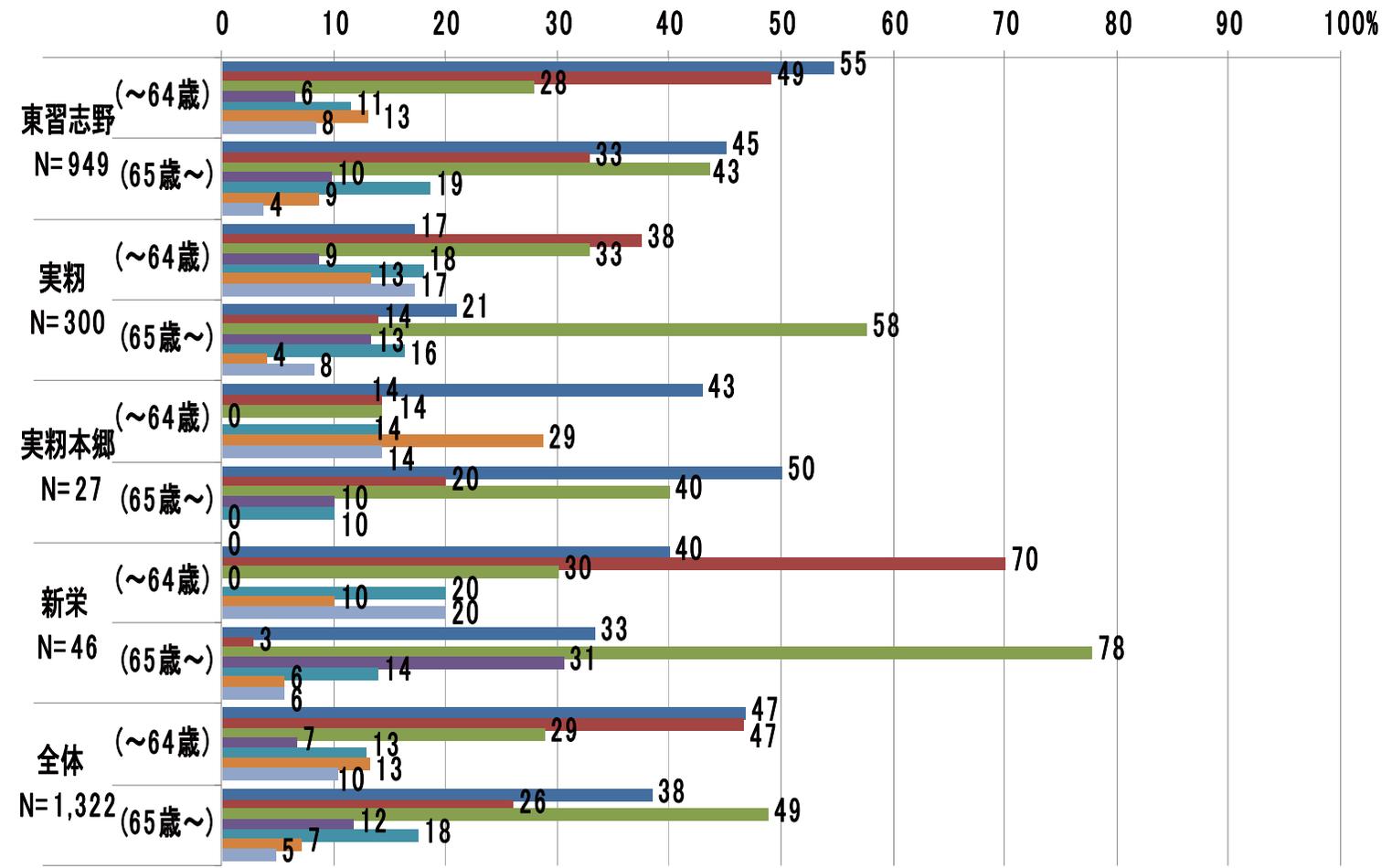
- ア. とても感じている
- イ. 感じている
- ウ. あまり感じていない
- エ. 感じていない
- オ. どちらでもない
- カ. わからない
- 不明



# 不便を感じている人の理由

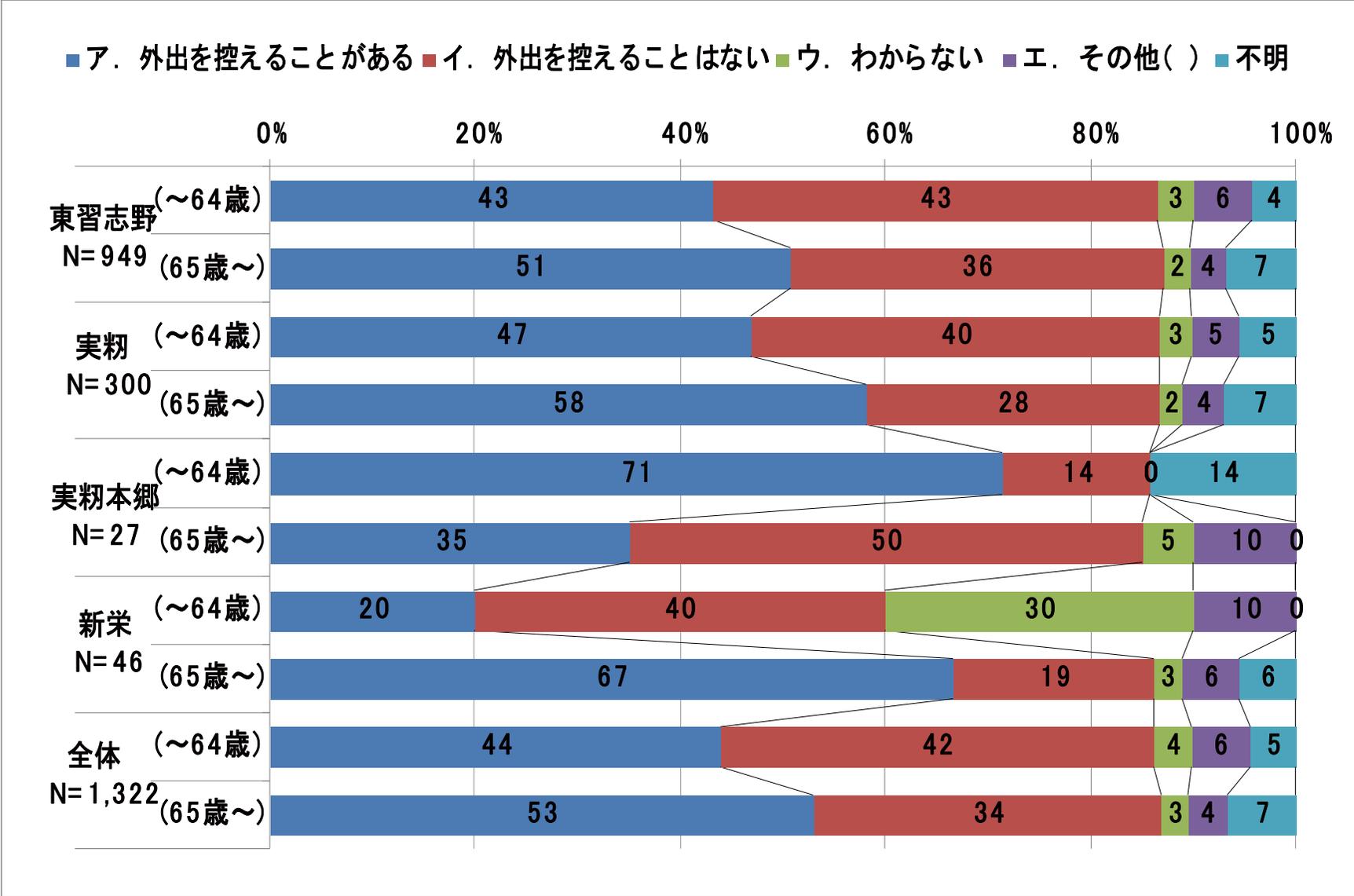
65歳以上の高齢者では「コミュニティバス実叡駅ルートの実証運行が終了したため」が最も多く、特に実叡、新栄でその割合が高い

- ア. 自宅から鉄道駅やバス停まで遠いため
- イ. 鉄道やバスの運行本数が少ないため
- ウ. コミュニティバス実叡駅ルートの実証運行が終了したため
- エ. タクシーでないと行くことができず料金が高いため
- オ. 家族等に送迎してもらうことが必要なため
- カ. やむを得ず自動車等の運転が必要なため
- キ. その他( )



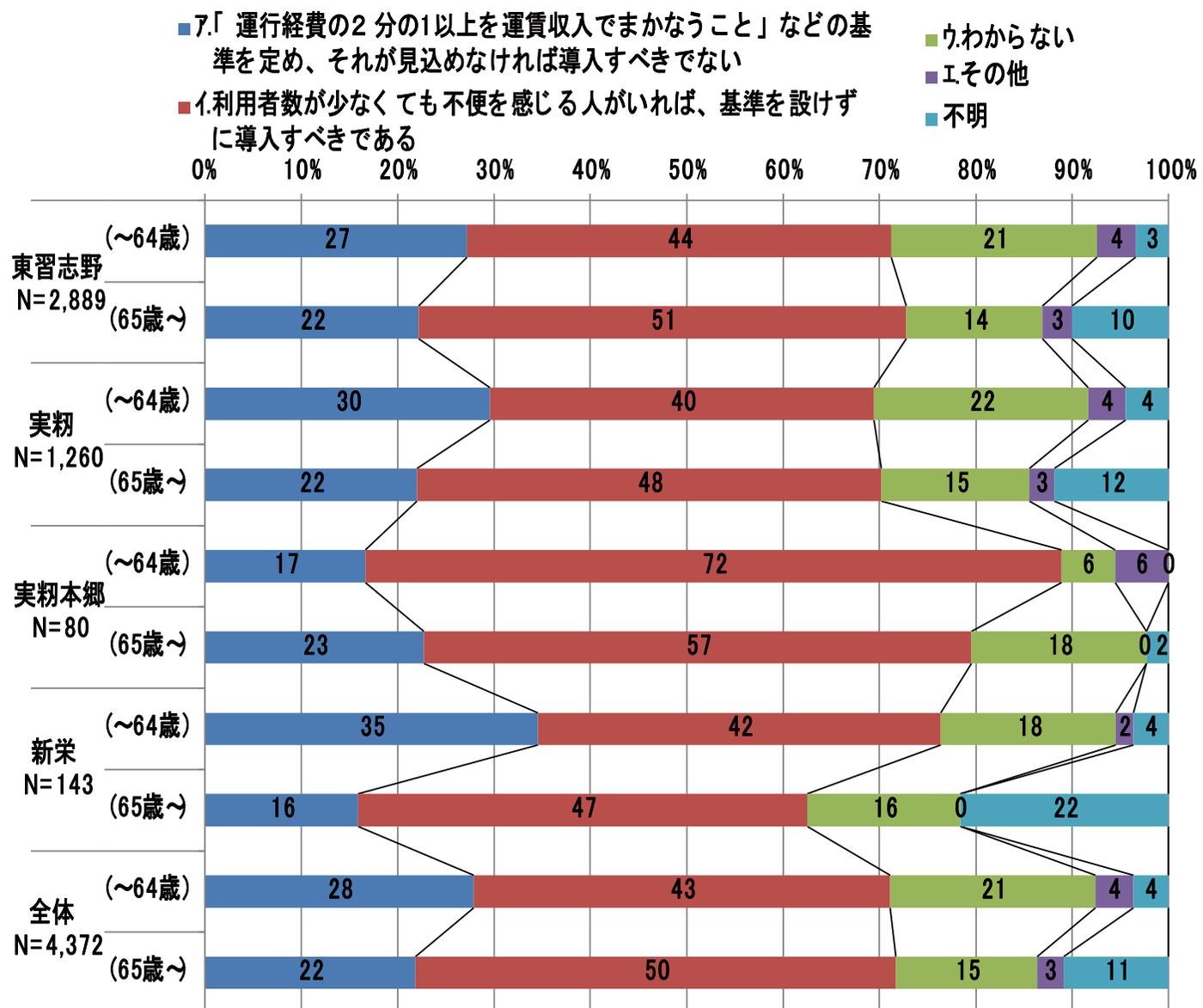
# 移動の不便さのため外出を控えるか

移動の不便さのために、全体で64歳以下では44%、65歳以上では53%が「外出を控える」と回答



# 新たな公共交通の導入を検討していく上での考え方について

「基準を設けず導入すべきだ」が最も多いものの、「基準を設け導入を評価すべきだ」と回答する方も2~4割程度いる



## ■市民アンケート調査概要(予定)

対象	谷津地域（谷津3～6丁目）、花咲地域（花咲1～2丁目）の10歳以上の居住者約3,000人を無作為抽出
方法	郵送による配布回収
アンケート内容	<p>* 東習志野・実籾地域と同様の内容</p> <p>I. 日常の外出状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 移動実態</li><li>▪ 移動の不便さ</li></ul> <p>II. 今後の地域公共交通のあり方</p> <p>III. 属性</p>